

# 地域の課題をとらえて

## 1氏が一般質問



驚見 悟

### 町民のくらしと 深地層研究センター の今後

**深地層研究計画の今後について**

**質問** 国は沿岸部20km以内、海底処分も検討材料としているが、今までの深地層研究とは大きく変化していると考えるが。

**町長** 資源エネルギー庁の原子力小委員会に設置されたワーキンググループにおいて検討されている。深地層研究計画に関しては、当初示された研究課題に沿って調査研究をしているものと認識している。

**質問** 幌延町で行われている深地層研究センターの説明会や報告会では、原子力機構のみの事業説明であるが、札幌市での説明会では、産業総合研究所や電力中央研究所など資源エネルギー庁の委託業務についても報告がされている。幌延町でも同様の説明会を開催するように要請してはどうか。

**町長** 確かに札幌市において報告会に併せて特別講演的な位置付けで共同研究機関からの紹介を行っている。幌延フォーラムなどを活用して行うよう要望していきたい。

**質問** 深地層研究センターの20年程度で終了した後には町として何を要請しようと考えているのか。

**町長** 平成31年度末までに示される第3期中長期計画が出た段階で協議していくものと思っている。

**質問** 3百50メートル以降のボーリング調査も町として要請して来たが、どうなるか。

**町長** 研究目的、目標を着実に進めていただけるようにお願している。

**国民健康保険の北海道一本化について**

**質問** 2018年度から国民健康保険が市町村から

北海道に一本化される。国は2018年以降1千7百億円の財政支出を行い、2020年度までに2千億円規模を確保するとしている。しかし定額による財政出動では、今後の医療費の増加に対する措置が十分ではない。どう対処しようと考えているのか。

**町長** 当面の国民健康保険運営には支障が生じないものと道から説明を受けている。後発医薬品の使用促進など医療費増加の抑制を図りつつ、関係団体と連携して、国へ要望していきたい。

**質問** 道北の医療と自治体病院の運営危機が叫ばれて久しいが、地域医療を守るためにこれからどう進めていくのか。

**町長** 医師の休暇のローテーションを旭川医科大学や北海道地域医療振興財団から医師を派遣してもらっている。

診療所として禁煙外来の設置や職場の健康診断の受診も実施している。毎月1回、まちあいセミナーとし



まちあいセミナー

て、多種にわたるテーマで講演会を開催するなど、様々な取り組みを考えている。

**質問** 幌延町の場合、国民健康保険税は毎年5%程度上がるのではないかと。

**町長** 試算の段階であり、北海道で協議している。

**質問** 去年の11月8日付の雑誌で掲載されていた、自治体病院収支赤字率ワースト100の内、道北が42も入っているがどう考えるか。

**町長** 道北一帯といった課題が大きいので、我が町としては、町民の医療を守っていきたい。